

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成24年9月13日 (2012.9.13)

【公開番号】特開2011-30734(P2011-30734A)
 【公開日】平成23年2月17日 (2011.2.17)
 【年通号数】公開・登録公報2011-007
 【出願番号】特願2009-179331(P2009-179331)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 2/14 (2006.01)

A 6 1 F 9/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/14

A 6 1 F 9/08

【手続補正書】
 【提出日】平成24年7月27日 (2012.7.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

患者眼に複数の電極を設置し、該電極より所定の電気刺激パルス信号を出力させて視覚の再生を促す視覚再生補助装置において、前記電極は立体形状を有するとともに、その表面が処理されることによって不均一で微細な凹凸形状を有することを特徴とする視覚再生補助装置。

【請求項 2】

請求項 1 の視覚再生補助装置において、前記電極は電気化学的な酸化還元反応によって表面処理されていることを特徴とする視覚再生補助装置。

【請求項 3】

患者眼に複数の電極を設置し、該電極より所定の電気刺激パルス信号を出力させて視覚の再生を促す視覚再生補助装置の製造方法において、所定の基板上に立体形状を有する複数の電極を形成する第 1 ステップと、該第 1 ステップにより前記基板上に形成された前記電極に対して所定の表面処理を施すことにより、前記電極表面に不均一で微細な凹凸形状を施す第 2 ステップと、を有することを特徴とする視覚再生補助装置の製造方法。

【請求項 4】

請求項 3 の視覚再生補助装置の製造方法において、前記表面処理は前記電極に対して電気化学的な酸化還元反応を行わせる処理であることを特徴とする視覚再生補助装置の製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 7】

(1) 患者眼に複数の電極を設置し、該電極より所定の電気刺激パルス信号を出力させて視覚の再生を促す視覚再生補助装置において、前記電極は立体形状を有するとともに、その表面が処理されることによって不均一で微細な凹凸形状を有することを特徴とする

。

(2) (1) の視覚再生補助装置において、前記電極は電気化学的な酸化還元反応によって表面処理されていることを特徴とする。

(3) 患者眼に複数の電極を設置し、該電極より所定の電気刺激パルス信号を出力させて視覚の再生を促す視覚再生補助装置の製造方法において、所定の基板上に立体形状を有する複数の電極を形成する第 1 ステップと、該第 1 ステップにより前記基板上に形成された前記電極に対して所定の表面処理を施すことにより、前記電極表面に不均一で微細な凹凸形状を施す第 2 ステップと、を有することを特徴とする。

(4) (3) の視覚再生補助装置の製造方法において、前記表面処理は前記電極に対して電気化学的な酸化還元反応を行わせる処理であることを特徴とする。